

# 海民とともに半世紀 海の博物館

市立海の博物館 ☎ 326006

海の博物館は、令和3年12月7日で開館から50年を迎え、開館50周年の記念特別展「海民とともに半世紀 海の博物館」を開催しています。

昭和46年12月7日、海に生きる人びと(海民)の歴史・生業・文化を伝える博物館として鳥羽一丁目に開館しました。開館にあたり昭和44年ごろから漁村を歩き、漁の道具・漁村の信仰や生活の用具などの有形民俗資料を収集・保存、また漁や祭りの様子などは写真・録音・録画で記録するなど、半世紀にわたり博物館活動を続けてきました。

昭和60年、「伊勢湾・志摩半島・熊野灘の漁撈用具」6,879点が国の重要有形民俗文化財の指定を受けたのを機に、現在地の浦村地区に移転を決め、平成4年には新しい海の博物館が開館しました。

今回の記念特別展は、50年にわたる歴史、収集・保管しているさまざまな資料、常設展や特別展、各種の調査活動や報告書なども含めた博物館の活動をはじめ、また現在の海の博物館の建設に関するこだわりや工夫について、より理解を深めてもらう特別展示です。



## 主な展示資料の紹介

「海の博物館50年年表」「海の博物館 発意 経過」「海の博物館設立宣言」「SOS運動の呼びかけ」などのパネルのほか、「旧海の博物館の入場券」「パンフレット類」「案内図」「建物や展示の写真」「旧博物館の模型」など、旧博物館を思い出して(知って)もらうことができる資料などを展示しました。

実物有形の民俗資料としては、「ワカメマキ」(ワカメを巻きとる漁具)や一番古い年代の天保6年の記銘がある「ツナワ」(釣り糸をより合わせてつくる道具)、安政4年の墨書がある「シビツキ」(マグロに打ち込むモリ)が入った木箱などもご覧いただけます。

その他、伊勢湾の最古の海図「伊勢海図」(明治21年計測)、「第1回水産博覧会」のポスター(明治16年)、「本浦の津波文書」(嘉永7年の津波に関する記録)、古写真では鳥羽の港に停泊する「日本初の動力付漁船富士丸」などを紹介しています。

海の博物館の船の収蔵庫の「小型木造船」を紹介するリスト、海女関係資料の種類なども展示、過去に開催した特別展のポスターも40枚近く展示しています。

海の博物館の建築のこだわりを理解してもらうために全体の「建築模型」、収蔵庫や展示棟の「建築模型」や「建築図面」も展示しました。

海の博物館の年報「海と人間」やSOS運動の情報誌「SOS」、特別展の図録、博物館の調査した報告書などが閲覧できます。

海の博物館の歴史や博物館活動の成果を知っていただける資料を多く展示・紹介しています。この機会にぜひ来館していただき、海の博物館の活動にご理解をいただければありがたいです。



海の博物館 展示資料



「建築図面」や「建築模型」の展示



SOS運動の情報誌